

令和6年度愛媛県美術館協議会の開催結果について

- 1 会議の名称 愛媛県美術館協議会
- 2 開催日時 令和6年11月12日（火）午後1時30分～3時
- 3 開催場所 愛媛県美術館本館3階会議室
- 4 出席者 愛媛県美術館協議会委員8名（2名欠席）、事務局7名
傍聴者なし、報道関係者1名
- 5 議事 すべて了承
 - （1）令和5年度事業報告、令和6年度予算及び事業について
 - （2）中期運営計画について
 - （3）令和7年度企画展（案）等について

6 主な意見

【事業報告・事業計画について】

●主要事業の方針及び説明について

来館者数以外に館として積極的に力を入れているところや数字に表れない活動・努力に対する成果が見えてこないのので、館として積極的に力を入れているところ、方針や数字以外の努力と成果を資料等に記載してほしい。

●成果の広報について

ボランティア育成に力を入れていること等をアピールしてはどうか。

企画展の成果や地域活動についても、エントランスに年間を通して掲示し、お知らせすることで、一般の方達の関心を引くのではと思う。

●文化観光推進拠点計画について

・5か年計画は、現在の美術館の人員配置で対応可能なのか。協議会の意見としては、何らかの対応を期待したい。働き方改革をして、期間内に対応できるようにお願いしたい。

・目標利用者数について、7年度以降1万人ずつ増加しているが、横ばいを維持するだけで大変であると思う。

【中期運営計画について】

●対話型鑑賞について

教育現場で対話型鑑賞を実施したうえで展覧会の観覧をしたが、子ども達の見方ががらりと変わった経験をした。大変うれしく思う。こども美術展の関係教諭との連携も良好であり、子どもの未来のためにも今後も引き続き支援いただきたい。

【令和7年度企画展について】

●開催時期について

3企画展ともに魅力的である。ミュシャ展もコレクション展へつなげられそうであるし、谷川俊太郎展も親子向けに開催できることが楽しみであるし、旅する光の切り絵展については、体験型で幅広い年齢層に楽しんでもらえるが、長期休暇等に併せられていないことが残念。

●企画展数について

今後は、全国的に展覧会本数を減らしていく必要があると思う。
輸送業者の人手不足、スケジュール調整が難航、経費も嵩み、企画展を開催すればするほど赤字となる。現状維持で称賛に値する。

●撮影について

会場内に子どもが興味を持って写真撮影できる展示箇所を作ってもらいたい。

【その他】

●入館者数について

現在と未来の人数を増やす2本立ての努力が必要。方針や振り返りで、来館者層の分析調査が必要ではないか。新規開拓者を増やすため、予算を確保し、学校へのバスの手配など、子どもの来館を増やす必要がある。

●対話型鑑賞について

子どもたちが鑑賞について理解を深めることとなり有効であるので、学校での対話型鑑賞の対応の機会を充実してほしい。

●地域の連携について

市町や地域、圏域との交流や来館者層の分布などを分析する必要がある。